



TITLE:

「鈴鹿本今昔物語集」の修補終わ
る

AUTHOR(S):

CITATION:

「鈴鹿本今昔物語集」の修補終わる. 静脩 1994, 31(1): 12-12

ISSUE DATE:

1994-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37264>

RIGHT:

図書館の動き

「鈴鹿本今昔物語集」の修補終わる

平成3年度から行っていた「鈴鹿本今昔物語集」9冊の修補が平成5年度で完了しました。これにより、この修補に伴って同時に作成されたマイクロフィルム等を含め、国文学史の研究に大いに貢献することと思われます。

商議会の開催

平成5年度第3回の附属図書館商議会が、去る3月23日に開催されました。今回は平成7年度概算要求、平成7年度大型コレクション収書計画等が討議されました。

平成6年度調査研究員の委嘱

昨年度に引き続き、附属図書館調査研究員の委嘱が、3月23日の附属図書館商議会において承認されました。

「目録カードによる遡及入力の研究」

大型計算機センター 星野 聡 教授

「学術情報ネットワークの研究」

大型計算機センター 金澤 正憲 助教授

協議会の開催

4月25日、近畿地区国立大学図書館協議会が附属

図書館で開催され、昨年度事業の報告、今年度役員の選出などが行われました。また、6月に開催される全国の協議会総会に向けての討議も行われ、地区として「大学図書館職員の育成について（京都大学提案）」と「諸外国大学図書館との相互協力の促進について（大阪大学提案）」及び、「学術雑誌目次速報データベース（仮称）事業化計画とその後の対応について（大阪大学提案）」を提案することが了承されました。また、「学内LANと図書館情報（仮称）」といったテーマによる、国立大学図書館協議会シンポジウムの開催についても大阪大学から提案することが了承されました。

また、上記会議に引続き、近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会も開催されました。昨年度の事業報告や今年度の役員選出、事業計画についての討議が行われ、研究集会や講演会などについて今後具体案を検討して行くことになりました。

平成6年度目録担当職員システム研修の開催について

平成6年6月13日から17日まで標記の研修会が附属図書館で開催され、学内の部局図書室から11名の受講者がありました。

目 次

<巻頭記事>

情報ネットワークの進展と大学図書館……………1

<お知らせ>

夏期休暇中長期貸出を行います……………6

休館・時間変更等……………6

新しい英文利用案内ができました……………6

CD-ROMで外国学位論文の検索ができます……………6

全国共同利用図書資料（大型コレクション）の

利用案内について……………7

<報告>

電算機システムの更新について……………7

図書館利用オリエンテーションの開催……………8

<資料紹介>

平成5年度に購入した特別図書

学生用図書（高額図書）を紹介します……………9

<図書館の動き>

「鈴鹿本今昔物語集」の修補終わる……………12

商議会の開催……………12

平成6年度調査研究員の委嘱……………12

協議会の開催……………12

平成6年度目録担当職員システム研修の

開催について……………12

<その他>

平成5年度蔵書統計……………11

後 記

図書館の世界にもマルチメディア、インターネットといった言葉が飛び交っておりますが、附属図書館でも今年の秋には、吉田松陰を中心とした維新展の開催と並行してマルチメディアによる、いわば電子版維新展とでも称するプロジェクトを実施するため、着々と準備を進めております。詳細は次号でお

知らせする予定です。

もちろん、図書館は新しい世の中の動きに対応するだけでなく、伝統的な資料の保存管理といった役割も持っております。昨年12月に行われた展示会「京洛出版の軌跡」に関連した講演記録も特別号として発行する予定です。（も）